

## 令和7年度 庄原市職員採用試験実施計画について

### 1 趣旨

受験希望者がより計画的に受験できるよう、職員採用試験の年間実施計画を公表します。

また、本年度に高校を卒業する方なども受験が可能となる後期募集からは、近年の応募者数の状況や職員の年齢構成なども踏まえ、応募対象年齢を細分化するとともに、公務員経験者枠やU・Iターンなどに対応した社会人経験者枠を新たに設け、即戦力の人材確保や帰郷を希望する方のニーズに対応します。

さらに、SPI試験の導入などにより、多様な人材確保に努めます。

### 2 新たな取り組み

#### (1) 採用区分の設定【後期試験～】

- ユース枠(高校生枠)を新設し、地元出身者の確保と若年からの育成に主眼を置き、大卒・社会人経験者と区分した選考を行う。
- 従来枠のほかに、様々な経験・専門性を有し、即戦力の人材を積極的に確保するため公務員経験者・社会人経験者枠を新設する。
- デジタル社会の進展により、DX人材の確保及び育成は急務であるため、デジタル人材枠を新設する。
- キャリア形成の観点から、採用後、一定の勤務年数を確保できる年齢設定を行う。

区分	要件
ユース枠 (高卒枠)	18歳～21歳
フレッシュャーズ枠 (従来枠)	22歳～30歳 (従来は18歳～30歳)
公務員経験者枠	公務員経験年数通算5年以上 31歳～45歳
社会人経験者枠 (U・Iターン対応)	同一勤務先に5年以上勤務 31歳～40歳
社会人経験者枠 (デジタル人材)	デジタル技術に関連した職務経験が5年以上 31歳～50歳

(2) 第一次試験の見直し【後期試験～】

試験内容	適用枠
一般教養試験	・ユース枠 ・フレッシュャーズ枠
適性検査(SPI)	・公務員経験者枠 ・社会人経験者枠

※1:SPI 試験

リクルートが提供する全国で最も利用されている適性検査で、適する職種やストレス耐性を測定する性格検査と、仕事に要するスキルや知識を獲得する際のベースを測定する能力検査から構成される。

※2:テストセンター方式

指定する期間内に、全国に設置された試験会場のうちから、受験者が希望する会場・日時を選択し、各会場においてパソコンを使用して受験する方式。【 広島県:広島産業文化センター 11F 】

(3) 第二次試験以降の見直し

○従来の集団面接試験を終了し、個別面接試験のみとすることで、スピード感のある選考を行う。

■従来

区分	第一次試験	第二次試験	第三次試験
前期・後期募集	一般教養、作文、 性格特性検査	集団面接	個別面接
早期・追加募集		個別面接	—



■変更後

【前期試験～】

区分	第一次試験	第二次試験
ユース枠(18歳を除く) フレッシュャーズ枠	一般教養、作文、 性格特性検査	個別面接

【後期試験～】

区分	第一次試験	第二次試験
ユース枠 フレッシュャーズ枠	一般教養、作文、 性格特性検査	個別面接
公務員経験者枠 社会人経験者枠	SPI	個別面接

# 令和7年度 庄原市職員採用試験実施計画

令和7年度の職員採用試験について、下記のとおり実施予定です。

なお、この計画は予定であり、変更する場合がありますので、詳細については適宜ホームページ等でご確認ください。

## 【前期募集】

職種	応募対象年齢 ※R8.4.1時点	年間採用予定人数	申込受付 期間	第1次試験日 (試験会場)	試験内容		合格 発表
					第1次試験	第2次試験	
一般事務職 A	19~30 歳	20 名程度	R7.6.18 ~ R7.7.18	【日にち】 R7.8.3 【会場】 庄原市役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教養試験</li> <li>・性格特性検査</li> <li>・作文</li> <li>・専門試験 ※技術職(土木)のみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別面接試験 (R7.8中旬実施予定)</li> </ul>	R7.8 下旬
一般事務職 B ※10月1日採用							
一般事務職 C ※障害のある人	19~35 歳						
技術職(土木)	19~30 歳	3 名程度					
技術職(建築)	~35 歳	2 名程度					
社会福祉士 (事務職)		1 名程度					
保健師		2 名程度					
保育士	~30 歳	2 名程度					
調理員	19~40 歳	1 名程度					

## 【後期募集】

区分	応募対象年齢 ※R8.4.1時点	職種	申込受付 期間	第1次試験日 (試験会場)	試験内容		合格 発表
					第1次試験	第2次試験	
・ユース枠	18~21 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般事務職</li> <li>○一般事務職 (障害のある人)</li> </ul>	R7.8.1 ~ R7.10.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●庄原会場 【日にち】 R7.10 中旬 【会場】 庄原市ふれあいセンター</li> <li>●広島会場 【日にち】 R7.10 下旬 【会場】 県立広島大学 広島キャンパス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教養試験</li> <li>・性格特性検査</li> <li>・作文</li> <li>・専門試験 ※技術職(土木)のみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別面接試験 (R7.11中旬実施予定)</li> </ul>	R7.11 下旬
・フレッシューズ枠	22~30 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技術職(土木)</li> <li>○技術職(建築)</li> <li>○社会福祉士 (事務職)</li> <li>○保健師</li> </ul>					
・公務員経験者枠	31~45 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育士</li> <li>○調理員</li> <li>○埋蔵文化財 (事務職)</li> </ul>					
・社会人経験者枠 (U・ターン対応)	31~40 歳	※以下の職種はユース枠 の応募対象外 <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術職(建築)</li> <li>・社会福祉士</li> <li>・保健師</li> <li>・調理員</li> <li>・埋蔵文化財</li> </ul>					
・社会人経験者枠 (デジタル人材)	31~50 歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル人材 (事務職)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・SPI 試験 (基礎能力・性格)</li> </ul>		

## 令和7年度市政懇談会の開催について

### 1 趣旨

市政懇談会は、庄原市まちづくり基本条例の規定に基づき、市民と市長が直接対話することにより、市民の市政への理解を深め、市民の意向を尊重したまちづくりを推進すること及び市民の参画と協働の機会を積極的に提供することを目的に実施しています。

令和7年度の市政懇談会について庄原市自治振興区連合会、各地域自治振興区連絡協議会、各自治振興区（以下「自治振興区等」という。）と市の共同開催として実施します。

### 2 実施方法

令和7年度市政懇談会 ～市民とつながる懇談会～	
実施形態	対面による懇談 ※実施の自治振興区が車座形式、スクール形式を選択する。
実施時期	令和7年8月～9月
実施時間	90分 ※実施の自治振興区により18時、18時30分、19時、19時30分の開始時刻を選択する。
懇談会の流れ	① 開会（10分） ・市長あいさつ、自治振興区代表あいさつ ② 出席者紹介・諸注意（5分） ③ 懇談テーマ 市長説明（5分） ④ テーマについての懇談・質疑応答（35分） ⑤ 地域要望に関する意見交換（30分） ⑥ 閉会（5分） ・市長まとめ
実施会場	市内10会場（庄原4会場、西城、東城、口和、高野、比和、総領）
出席者	① 自治振興区 自治振興区の役員や地域住民とし、会場の規模により人数は自治振興区で調整する。 ② 市 市長、副市長、地域要望担当部長、各支所長（支所地域のみ）、西城病院長（西城地域のみ）とする。ただし、地域要望が教育委員会の場合は教育長も出席とする。
テーマ	（仮称）「安心な暮らしが充実し、庄原にかかわる人の未来がつながっていくまち」
地域要望	各自治振興区、1件までの地域要望を事前に受け付け、当日意見交換を行う。

### 3 実施予定会場

実施日	開始時間	自治振興区	会場
8月1日(金)	18時30分	総領自治振興区	総領自治振興センター
8月4日(月)	19時	庄原自治振興区	庄原自治振興センター (多目的ホール)
8月20日(水)	19時	比和自治振興区	比和自治振興センター
8月22日(金)	19時	東・山内自治振興区	東自治振興センター
8月26日(火)	19時	小奴可の里・八幡・田森・東城・ 帝釈・久代・新坂自治振興区	東城支所大会議室
8月29日(金)	19時30分	上高・下高自治振興区	上高自治振興センター
9月1日(月)	18時30分	高・北自治振興区	庄原自治振興センター (多目的ホール)
9月8日(月)	19時	口和自治振興区	口和自治振興センター
9月10日(水)	19時	本村・峰田・敷信自治振興区	庄原自治振興センター (多目的ホール)
9月17日(水)	18時30分	西城・八銚自治振興区	西城自治振興センター

#### 問い合わせ先

庄原市 総務部 行政管理課 広報統計係 担当：三戸 電話 0824-73-1159

## 官民連携コンソーシアムによる二地域居住先導的プロジェクト実装事業の実施について

### 1 趣旨

近年、新型コロナウイルス感染症の流行を契機としてテレワークが普及したことや、地方における豊かな生活への関心が以前よりも高まったこともあり、U I Jターンを含めた若者・子育て世帯を中心とする「二地域・多地域居住（主な生活拠点とは別の特定の地域に生活拠点を設ける暮らし方。以下「二地域居住」という。）」に対するニーズが高まっています。

二地域居住は、個人の多様なライフスタイルの実現による Well-being の向上に加え、都市部と地方部間など複数の地域において継続的な移動や滞在が行われることから、新たな担い手の確保、新たな需要による雇用の創出、専門的技能を有する人材とのマッチングによる地域活性化や魅力的な地域づくり、さらには災害時の冗長性の向上にも資する有効な手段とされています。

この二地域居住等における地域課題の解決に向けた先導的な取組を支援し、その課題や効果・影響等を検証することにより、課題解決に向けた対策や取組の実装を図ることを目的とした、国土交通省 二地域居住先導的プロジェクト実装事業について、市内外の団体等及び市で構成するコンソーシアムにより申請していましたが、令和7年6月30日付で事業採択されました。

令和7年7月10日、事業主体となるコンソーシアム「教育×二地域居住による関係人口の獲得を通じた、山間部の課題解決試行モデル推進プロジェクトチーム」のキックオフミーティングを開催し、二地域居住の実践に向けた取り組みを進めていきます。

### 2 二地域居住先導的プロジェクト実装事業の概要

#### (1) 事業名

「教育×二地域居住による関係人口の獲得を通じた、山間部の課題解決試行モデル」事業

#### (2) 事業の背景

今春市内に小中一貫校「学校法人庄原子どもの夢学園」が開校しましたが、現在学校寮がなく、児童と親が居住するファミリータイプの賃借物件が不足する現状にあります。

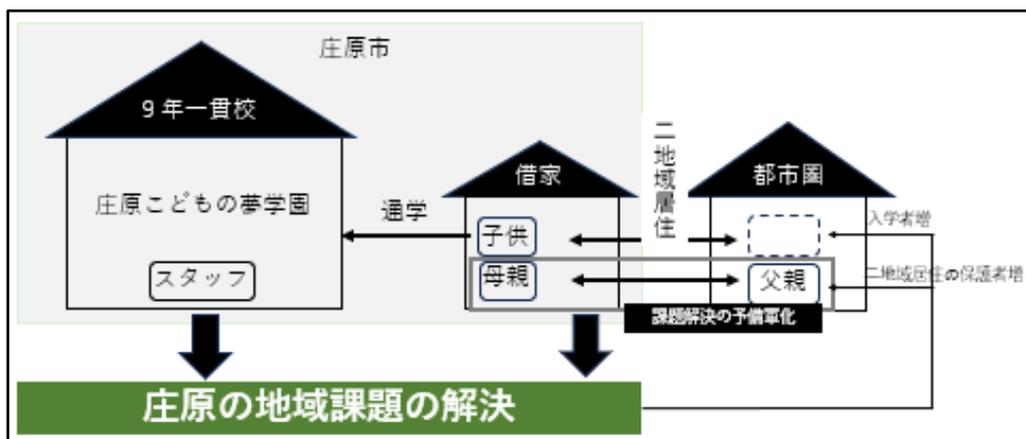
この開校に伴う入学者12名のうち、9名は都市圏からの来訪者で、通学が不可能であることから市内で二地域居住などで生活されています。加えて、都市圏で生活する親御さんも含めると30名近い関係人口が形成されており、その中には高度なビジネススキルを持つ方もおられます。

少子高齢化が進行する本市にとっては、こうした層が地域課題解決の担い手として活躍していただくため、地域企業等とマッチングする仕組みが求められています。

また、前述の一貫校においては、遠隔地ゆえに今後の人員不足が懸念されており、教育環境の充実のため、教育スタッフを二地域居住により全国から柔軟に獲得できないか可能性を検討しています。

さらに、二地域居住する親御さんが働いている場合、児童やその兄弟の生活時間に合わせた子どもの一時預かりや学童保育、医療・学校手続きサービスへの柔軟な対応が求められる状況にあります。

加えて、公共交通機関が乏しい本市では、自家用車を持たない居住希望者や通学中の児童にとっては、移動手段の確保策も検討する必要があります。



(3) 課題解決への取り組みと概算事業費

- ① 市内の空き物件の改修意向調査 2,000 千円
  - ② 教育上の理由で二地域居住する両親層のスキル棚卸と地元企業等とのビジネスマッチング試行 2,000 千円
  - ③ 教育×二地域居住を推進する上での教育スタッフの二地域居住による獲得可能性調査 1,000 千円
  - ④ 教育×二地域居住を推進する上での学童サービスや、JR芸備線を含めた移動交通など諸課題の洗い出しと解決策の検討 1,000 千円
- 合計 6,000 千円 (国費 10/10)

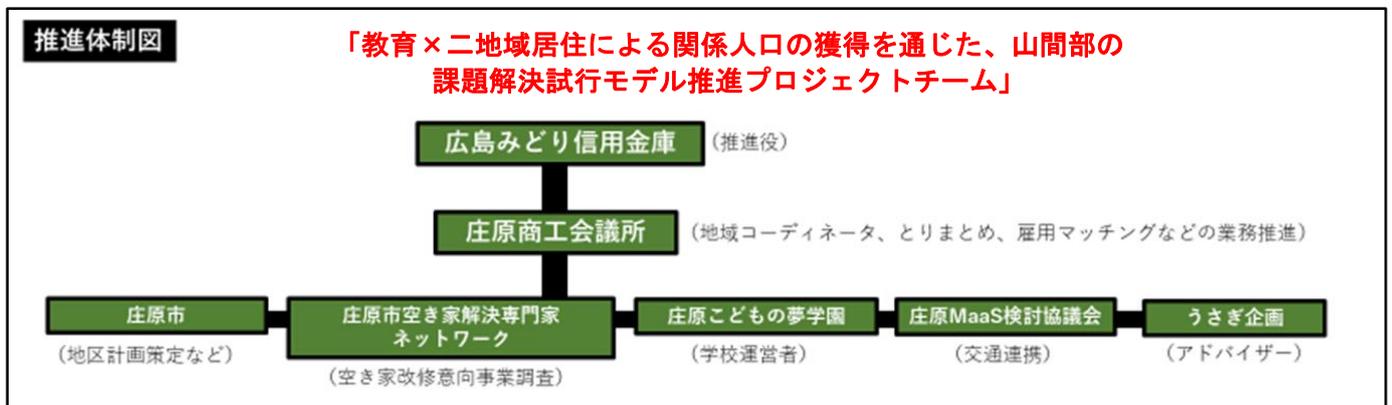
(4) 事業主体

① コンソーシアムの構成

市が指定した特定住支援法人である広島みどり信用金庫を中心に、庄原商工会議所、庄原空き家解決推進ネットワーク、学校法人庄原こどもの夢学園、庄原 MaaS 検討協議会、合同会社うさぎ企画及び市で構成するコンソーシアムにより、事業を実施します。

■ 構成団体及び代表者

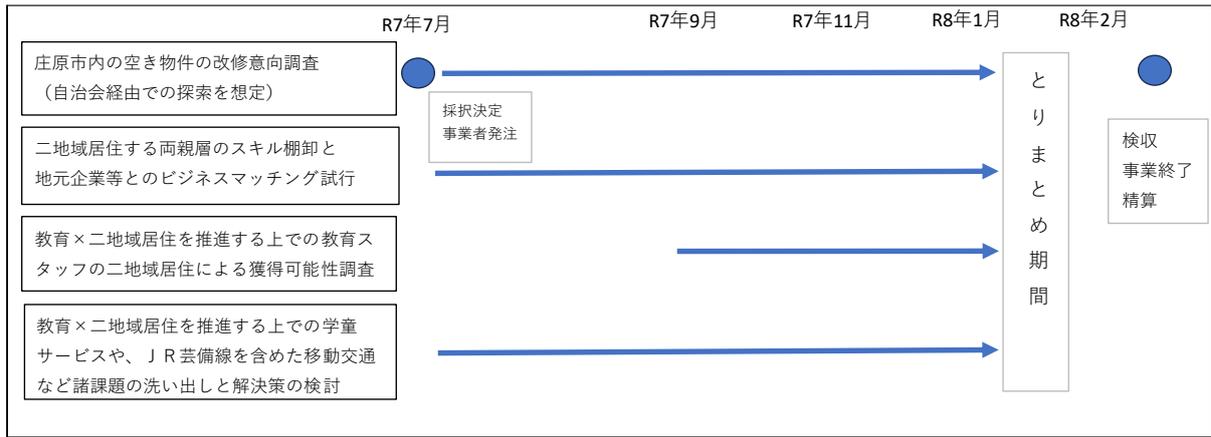
団体	代表者
広島みどり信用金庫	小林 明宗 理事長
庄原商工会議所	佐々木 満 会頭
庄原 M a a S 検討協議会	佐々木 満 会長
庄原市空き家解決専門家ネットワーク	飯田 一生 代表理事
学校法人庄原こどもの夢学園	中岡 和己 理事長
合同会社うさぎ企画	森田 創 代表社員
庄原市	八谷 恭介 市長



② 「教育×二地域居住による関係人口の獲得を通じた、山間部の課題解決試行モデル推進プロジェクトチーム」キックオフ

日時 令和7年7月10日(木) 13時30分～14時30分  
 場所 広島みどり信用金庫 本店3階大会議室  
 参加者 小林 明宗 広島みどり信用金庫理事長  
 佐々木 満 庄原商工会議所会頭・庄原 M a a S 検討協議会長  
 飯田 一生 庄原市空き家解決専門家ネットワーク代表理事  
 中岡 和己 学校法人庄原こどもの夢学園理事長  
 森田 創 合同会社うさぎ企画代表社員  
 八谷 恭介 庄原市長

(5) 事業スケジュール (案)



問い合わせ先

<p>広島みどり信用金庫 業務部 担当：山本 電話：(0824) 72-5588 E-mail：s1758001@facetoface.ne.jp</p>	<p>庄原市 企画振興部企画課 担当：田部 電話：(0824) 73-1128 E-mail：kikaku-chosei@city.shobara.lg.jp</p>
---	---

令和7年7月1日  
国土政策局地方政策課

## 二地域居住の中長期的な課題解決に向け先導的な取組を支援します！

～地方公共団体と民間事業者等が連携したコンソーシアム 14 団体に交付決定～

令和7年度「二地域居住先導的プロジェクト実装事業」として、二地域居住等の促進を通じて地方への人の流れを創出・拡大するため、官民連携のコンソーシアムが実施する二地域居住等における中長期的な課題の解決に向けた先導的な取組14件を採択し、交付決定を行いました。

### <事業の概要>

全国的な人口減少・少子高齢化により地域の持続性が脅かされている中、二地域居住等の促進を通じて地方への人の流れを創出・拡大するため、二地域居住等における中長期的な課題の解決に向けた先導的な取組を支援し、その課題や効果・影響等を検証することにより、課題解決に資する対策や取組の実装を図るものです。

なお、今回の交付決定は、本年3月26日に交付決定した令和6年度「二地域居住先導的プロジェクト実装事業」の2次募集結果となります。

- 公募期間 令和7年4月28日～令和7年5月30日
- 応募団体 15団体
- 交付決定団体 14団体(詳細は別紙参照)

### 【問合せ先】

国土政策局 地方政策課 酒井、吉田(正)、山口

TEL : 03-5253-8111(内線 29522)、03-5253-8369(直通)

■「二地域居住先導的プロジェクト実装事業」(2次)採択取組一覧

○採択取組		
実施地域	応募主体	取組概要
ほっかいどうきたみし 北海道北見市	北見市二地域ライフ推進コンソーシアム	「テレワークによる長期滞在型」の二地域居住を推進するため、都市部と同等の仕事施設、空き家活用等に取り組む。
みやぎけんけせんぬまし 宮城県気仙沼市	2ndキャリア聖地を目指す！関係人口創出PJコンソーシアム	40～60代の仕事と地域役割のマッチング等に取り組むことで、二地域居住のモデル構築と定着を官民連携で目指す。
ふくしまけん磐梯町 福島県磐梯町	磐梯町二地域居住推進コンソーシアム	二地域居住者の生活支援や情報提供、地域住民の理解促進を図り、持続可能な受入体制を検証・構築する。
いばらきけんさかいまち 茨城県境町	河岸の街さかいまちづくりコンソーシアム	「さかいまちデジタル住民票(仮称)」等で情報発信し、ふるさと納税寄付者から二地域居住者への転換を目指す。
にいがたけんさどし 新潟県佐渡市	佐渡二地域居住推進コンソーシアム	離島での特定居住者を証明制度で明確化し、移動コスト支援や地域課題解決等を通じて二地域居住の受入を促進する。
とやまけんなんとし 富山県南砺市	南砺市二地域居住推進コンソーシアム	南砺市の二地域居住の定義を明確化し、ニーズ調査や参加者データ活用で生活環境整備施策等の実証を実施する。
ながのけんほくほむら 長野県白馬村	白馬村二地域居住促進コンソーシアム	白馬村の人手・住宅不足解消に向け、人材マッチングとシェアハウス整備で二地域居住者の受入と定着を促進する。
しずおかけんもりまち 静岡県森町	森町二地域居住推進コンソーシアム	親子教育環境を軸に、都市住民との交流と二地域居住を促進し、地域活性と持続可能な関係構築を目指す。
みやぎけんみなみいせちょう 三重県南伊勢町	南伊勢町2地域居住推進チーム	二地域居住のコンソーシアムを設立し、交流人口・関係人口から二地域居住につなげるための実証事業を行う。
わかやまけん 和歌山県 わかやまけんたなべし 和歌山県田辺市 わかやまけんしらほまちょう 和歌山県白浜町 わかやまけんちやう 和歌山県さすみ町 ほっかいどうかみしほろちやう 北海道士幌町 かがわけんみとよし 香川県三豊市 ながさきけんいきし 長崎県壱岐市	サステナブルな二地域居住推進に向けた実証コンソーシアム	マイレージ活用により航空移動費を軽減し、ふるさと納税等による自治体財源確保を実装するモデル的な取組を行う。
とっとりけんほくえいちやう 鳥取県北栄町	北栄町二地域居住促進コンソーシアム	若年層来訪者を対象に、住環境・なりわい・つながりを整備し、持続可能な二地域居住モデル構築に向けた調査を実施する。
ひろしまけんしょうばらし 広島県庄原市	「教育×二地域居住による関係人口の獲得を通じた、山間部の課題解決試行モデル」推進プロジェクトチーム	教育をきっかけに、二地域居住者との関係構築を図り、地域が抱える諸課題(空き家問題、人材確保問題等)の解決を目指す。
おおいたけんゆふし 大分県由布市	由布市二地域居住促進コンソーシアム	都市部からの二地域居住者を促進することで、由布市での地域の担い手確保や空き家対策、地域の活性化等に取り組む。
かごしまけんみなみおおくまちやう 鹿児島県南大隅町	留学先納税を活用した地域関与検討コンソーシアム	ふるさと納税納付、地域に滞在等の実績のある者に特典付きパスポートを発行し、関係深化や再訪・定着の要因を調査する。